



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 渡辺 信夫

■ 安全活動事例発表会を開催

安全衛生部会は 10 月 25 日、15 社 31 名の会場参加者と 3 社 5 名の Web 参加者の計 36 名の参加をいただき安全活動事例発表会を開催しました。

今年度は、協永堂印刷(株)大久保美華さんによる安全衛生活動事例発表、真岡労働基準監督署の村井公祐安衛課長による安全衛生講習会及び(株)オートテックジャパンの岩城敏行さん、植平英介さんによる全国産業安全衛生大会レポートです。

主催者の荒井 治部会長は開会にあたり「先進的な安全衛生活動に取り組む会員企業の事例を多くの会員企業の皆様にご紹介することで、より安全で働きやすい職場環境の整備に役立てていただくことを目的に開催していますので、本日の取組事例等を参考に、各企業様も安全衛生活動の推進に役立ててください」などと挨拶しました。

◆協永堂印刷(株)様は、栃木事業所が平成 20 年に芳賀工業団地に移転操業され、各種印刷、デザイン企画、ホームページの制作など「アナログとデジタルの融合」により事業を展開している企業です。

「労働安全衛生活動では「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災害 3S への取り組み」として、安全衛生管理体制のもと職業疾病対策や社員の健康管理維持増進に努めています。

また、3Sを進めたことにより様々な「ムリ、ムダ、ムラ」が減りました。見栄えよく揃えるだけではなく、必要な時にいつでも誰でも取り出せる仕組みを今後も従業員主導で取り組んでまいります」と発表がありました。

◆真岡労働基準監督署村井課長による安全衛生講習会では「真岡労働基準監督署管内における休業 4 日以上死傷者数は 9 月末現在、昨年同時期と比較して 12 名減(△7.9%)の 139 名、死亡者数は 2 名で 1 名増となっています。しかし、コロナ感染症関係を除くと 36 名増の 137 名(+35.6%)と増加している状況です。

労働災害の内容は、依然として足場・通路・階段等における「転倒」、高所からの「墜落・転落」、機会・装置等による「はさまれ・巻き込まれ」など、これまでも発生した災害と同様、上位 3 災害(3 大災害)が約 50%を占めています。基本的な安全対策を講じていれば発生しなかったと思われる災害、起こるべくして起きた災害がほとんどですので、作業前の点検、安全な作業手順の遵守など災害防止対策の徹底を図ってください。なお、「転倒」は 50 歳以上の労働者で多発していますのでご注意ください」などと話されていました。



(事例発表：大久保さん)



(講習会：村井課長)

◆(株)オートテックジャパンのお二人から6月に福岡で開催された全国産業安全衛生大会の参加レポートがありました。14分科会の内、機械・設備等の安全と化学物質管理活動の2分科会に参加され「農機具での事故は毎年約300名が被災しており、安全設計に基づいた製品もルールを守らなければ災害に至る」ことや、「化学物質管理者の選任及び保護具着用管理責任者の選任<現場をしっかりと把握した者>が重要である」ことが報告されました。



(参加レポート: OTJ 岩城・植平さん)

◆発表会后に、県警察本部 警備部警備第一課の有路 等警部補から「経済安全保障上課題となる外国への技術流出のリスク」についての説明がありました。「日本には、先端技術を保有する企業が多く存在しています。これらの技術には軍事転用が可能なものもあり、その情報が国外に流出した場合、企業などの国際競争力が低下するだけでなく、我が国の安全保障上も重大な影響が生じかねません。一人ひとりが、技術流出のリスクや手口を認識し、基本的な対策を講じることが重要です」と話されていました。<※ 下のQRコードから啓発動画にアクセスできます>

(説明: 有路警部補)



■ 若手研修会 ～ブラッシュアップセミナー～

総務企画部会主催の若手研修会を10月24日に開催しました。9社から入社して数年以内の若手社員20名が参加しました。

研修会は、それぞれのポジションで求められる基礎的な知識、折衝力、管理能力などのスキルを高め、会社の中心的役割を果たすことのできる人材の育成を目的にしています。

岡田 等部会長から「企業内での報・連・相は大切ですので、1日しっかりと研修していただき、ぜひブラッシュアップしてください」と励ましの開会挨拶で始まり、研修は業務の忙しさの中で忘れがちなCS（顧客満足）概念、ビジネストークのテクニック、段取りのよい命令の受け方・報告の仕方、タイプ別に分ける応対話法など実践的なテーマで行われました。



(開会挨拶: 岡田部会長)

研修後の受講者アンケートには「対話の重要性について実践して改めて気付かされた」「クッション言葉、マイナス・プラス法など言葉使いで相手に与える印象が変わるので気を付けたい」などの記述があり、気づきの一端を聞くことができました。

さらに、「言葉遣い、言い回しに工夫する」「ビジネストークの活用」「積極的なコミュニケーション」

ョン」「しっかりと報告・連絡・相談」「相手の立場に立って物事を考える」などの決意表明もありました。参加された皆様が、決意を新たに次のステージに向かって益々ご活躍されることを期待します。

(研修の様子)



■ 第3回 クリーン作戦で団地内を一掃

環境整備部会は、工業団地に立地する企業様に呼びかけ 10月19日、第3回クリーン作戦を実施し、71社から244名と多くの皆様に参加・協力をいただきました。

今回はケヤキなどの落葉が道路側溝のグレーチングを塞ぎ、排水しづらくなっている箇所を重点に清掃を実施していただくとともに、空き缶、ペットボトルなどの「ポイ捨て」ゴミの除去にも汗を流していただきました。

今回も多くの社員の参加にご配慮いただきました立地企業の皆様のご支援とご協力に感謝を申し上げます。



■ 普通救命講習会の開催

安全衛生部会が主催する第2回普通救命講習会を10月27日、27名の皆様に参加いただき開催しました。

前回から実技形式での講習会となり、最初にDVD視聴により一次救命処置（心肺蘇生とAEDの使用）などの流れを学んだ後、6グループに分かれ、グループごとに一人ひとりが心肺蘇生、胸骨圧迫、AEDの使用を、訓練用マネキンを使って実践しながらに訓練しました。また、気道異物の除去や止血法についても学んでいただきました。

忙しい中、真岡消防署芳賀分署の皆様にご指導いただき感謝申し上げます。なお、受講されていない方は、次回以降の講習会（③12/5、④1/23）に参加されますようお願いいたします。



■ 管理センター管理組合役員会を開催

10月17日、芳賀町と芳工連で組織運営する芳賀町工業団地管理センター管理組合（菱沼正裕組合長(副町長)）の役員会を開催しました。当組合は、管理センター及び体育館の運営や施設管理を行うとともに、芳工連の活動運営の助長と地域における施設の有効利用の促進を目的としています。

会議では、上半期の管理運営状況、予算執行状況、工事及び修繕等の内容、会議室及び体育館利用状況などについて審議していただきました。会議室等の利用回数、人数、料金は、前年同時期と比べると下回っていますが、令和2年、3年同時期と比べると大きく上回っている状況です。

下半期において、体育館排煙窓の改修、体育館南東駐車場の陥没部分の改修などを実施する予定です。



■ お知らせ

㈱ベストロジ栃木（代表取締役社長 小山廣宜）様は、創立20周年にあたり何か地域貢献できないかと考えていたところ、NPO法人 Hinata（理事長 酒井和夫氏(元芳賀町消防団長)）が運営している子どもの居場所で洋服が足りないことを聞いて、従業員から洋服を募り、この度の寄贈となりました。

酒井理事長は「この度の支援に感謝するとともに、食材、日用品、おもちゃ、学童向けの本など支援をいただけたら有難いです」と話していました。

<※ NPO 法人 Hinata : TEL 028-307-7061 . e-mail u-96232@ucatv.ne.jp>



(小山社長(写真右)から酒井理事長に寄贈)



(NPO スタッフと社員の皆様)

《 芳工連日誌 》

【10月の実績】

- 12～13日 団管連県外視察研修
- 17日 管理センター管理組合役員会
- 19日 第3回クリーン作戦
- 24日 若手研修会
- 25日 安全活動事例発表会・安全衛生講習会
- 25日 資源ごみ回収日
- 27日 第2回普通救命講習会
- 27日 町商工会理事会

【11月の予定】

- 8日 初級管理者研修会
- 9日 第2回環境整備部会
- 11日 第63回ゴルフ大会
- 12日 町民祭
- 15日 真岡地区産業安全衛生大会
- 17日 全体研修会
- 20日 安全運転講習会
- 27日 県産業労働観光部長との意見交換会、第3回役員会
- 29日 町商工会との交流会